

煙突工事手順（屋根出し）

サトーステンレス

前提

- 本書は別紙の煙突施工図を参照して施工する手順です。
- 本書で使われる煙突は相愛ホーロー(株)の国産煙突です。
- 煙突工事は、ある程度の大工工事スキルを要します。

煙突以外の必要な部材及び工具

- ・ロックウール（結露防止のために使用します）
- ・アルミテープ（ロックウールの裏面にロックウールを固定するために使用します）
- ・水平器（煙突の垂直を確認します）
- ・スプレー式接着剤（フラッシングのテーパー上の筒の裏面にロックウールを付けるために使用します）
- ・煙突同士を固定するビス（ジャックポイント長さ12mm）
- ・ケイカル板6mm（煙突開口部の防熱処理に使用します）
- ・ワカフレックス（瓦屋根の場合）
- ・木の角材（天井/屋根開口の下地と垂木の補強用）
- ・コーキング材（変性シリコーン、黒色）
- ・グラインダー、鉄板を切る砥石
- ・インパクト
- ・木ビス
- ・レーザー墨出し器および下げ振り

いずれも市販されています。

参考

- 補修用耐熱塗料（別売）
（パイレックス製耐熱温度600度）
- スプレーボンド
（タイルメント製スプレーボンド）



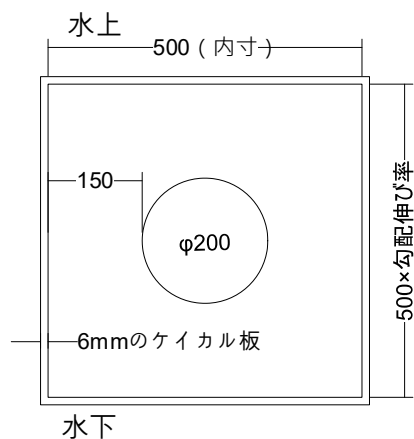
煙突工事手順

①煙突芯出し

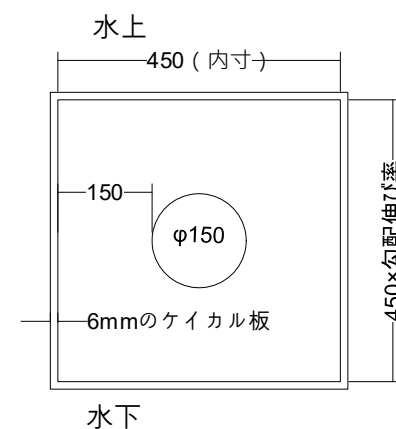
1. 薪ストーブ天板の原寸で型紙などを用いてストーブの位置を確定します。
2. 炉台または床に煙突芯の墨出しをします。
3. レーザー墨出し器または下げ振りを用いて天井に煙突芯を墨出しします。
4. 「3」の墨出し位置に穴をあけます。

②天井開口

- ①図の通り、煙突芯をセンターに開口します。
- ②開口部に垂木がある場合は、垂木を切断し補強してください。
- ③ケイカル板を開口部の4面に貼るために下地を設けてください。



600/750/800/
クッキングミニ



ミニ

③屋根開口

①炉台または床に墨出した煙突芯を基に野地板に煙突芯の墨出しをします。

④～⑧はルーフィング施工後に実施します。

④開口部貫通の煙突取り付け

①開口部の煙突芯に合わせてルーフサポートを取り付けます。

②ルーフサポートに二重煙突を通します。この時、開口部センターからトップまでの高さの分だけ通します。

③水平器で垂直が出るところでナットを締めて固定します。



ルーフサポート



直筒 930・850・400・240 L

■二重煙突の直径	
ミニ	φ 150
クッキングミニ	φ 200
600タイプ	φ 200

⑤屋外の煙突を接続

④で取り付けた煙突の上に、二重煙突を接続します。

差し込んだ後、煙突のつなぎ合わせ箇所をビスで固定してください。

⑥フラッシングの取り付け

①フラッシングの裏側とホッパー内部の側面に結露防止のためロックウールを付けます。

アルミテープとスプレーボンドを用いることでロックウールが着きます。

②開口部を貫通している二重煙突にフラッシングを被せます。

③屋根の種類に応じて雨仕舞してください。

⑦屋外の丸トッ プを接続します。

①丸トッ プ（煙突トッ プ）を取り付けます。

差し込んだ後、煙突のつなぎ合わせ箇所をビスで固定してください。



Yトッ プ（丸棒固定式）

⑧屋外煙突の防水処理

- ①フラッシングと二重煙突の隙間をコーキングで防水処理してください。
- ②①のすぐ上にストームカラーを取り付けてください。
- ③ストームカラーと二重煙突の継ぎ目はコーキングで防水処理してください。

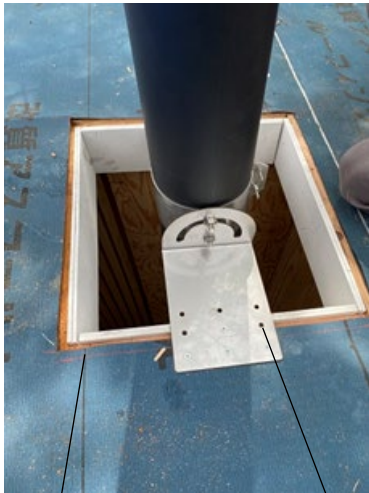


ストームカラー



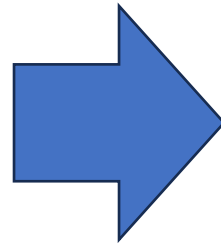
(参考) 屋根/天井開口の納まり

屋根施工写真



6mmケイカル板

ルーフサポート



屋根材の雨仕舞後に
煙突とフラッシングの
隙間、ストームカラー
と煙突のつなぎ目に
コーキングで防水処理

ストームカラー

- ・勾配に応じたフラッシング
- ・フラッシング裏面とホッパー内側にロックウールをアルミテープや接着材で付ける

(参考) 屋根/天井開口の納まり



開口納まり1

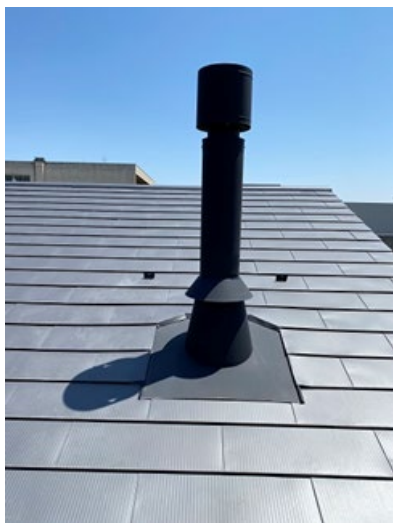


開口納まり2

※内装仕上がり後に化粧板で開口部を隠す

(参考) 屋根/天井開口の納まり

雨仕舞後の納まり



板金屋根



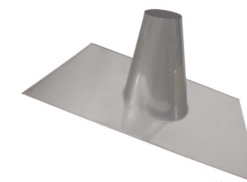
瓦屋根



ルーフサポート



ストームカラー



フラッシング
(ホッパー型)



直筒 930・850・400・240 L

ワカフレックス

これ以降は内装が仕上がってからの
作業となります。

⑨天井開口部の処理

天井開口部に化粧板をビスで取り付けて塞ぎます。

※化粧板は天井開口に設けた枠を下地とし、その箇所に効く位置に穴をあけてビスで取り付けてください。

⑩屋内煙突接続（二重煙突）

天井を貫通している煙突に二重煙突を接続してください。
差し込んだ後、煙突のつなぎ合わせ箇所をビスで固定してください。

※二重煙突の高さ調整をする場合、スライド管の中充填されているロックウールを取り除き、スライド管の下につながる二重煙突を上下にスライドして高さを調整します。

⑩屋内煙突接続（二重煙突のブレ止め）

煙突の全長が長い場合、梁や壁などの躯体を利用して煙突のブレ止めを施します。

施工例



ブレ防止で使う金物



二つ割バンド



支持足



一点支持金具 吊バンド

※必要に応じて丸パイプを切って長さ調整してください。

⑪屋内煙突接続 (二重煙突からシングル煙突への変換)

1. 二重煙突の下側にホッパーレジューサーを接続します。差し込んだ後、煙突のつなぎ合わせ箇所をビスで固定してください。
2. ホッパーレジューサーに $\phi 100/\phi 150$ 煙突を接続してください。差し込んだ後、煙突のつなぎ合わせ箇所をビスで固定してください。



ホッパーレジューサー



直筒 1000・500・300 L

⑪薪ストーブ/スタンド/床遮熱板の設置 φ100煙突とシングル煙突の接続

- ①スタンドと薪ストーブを設置します。この時、これまでに取り付け
た煙突の芯にある程度合う位置に設置します。
- ②本体にφ60/φ100ダンパー煙突とφ60/φ100⇔φ100/φ150の変
換アダプタを付属の袋ナットで仮止めします。
- ③ φ60/φ100⇔φ100/φ150変換アダプタに接続されるシングル煙
突の長さをみて、長いようであればグラインダーで切断します。切断
する寸法は、シングル煙突がφ60/φ100⇔φ100/φ150変換アダプタ
に50mm差し込まれる長さとなります。

⑪薪ストーブ/スタンドの設置

φ 60/ φ 100煙突とシングル煙突の接続

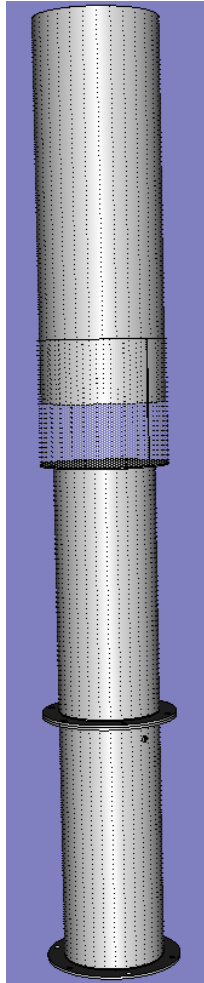
④ φ 60/ φ 100ダンパー煙突と φ 60/ φ 100 ⇔ φ 100 φ 150変換アダプタを取り外します。

⑤切断したシングル煙突を先に接続します。差し込んだ後、煙突のつなぎ合わせ箇所をビスで固定してください。

⑥ φ 60/ φ 100 ⇔ φ 100 φ 150変換アダプタをシングル煙突に差し込みます。

⑦ φ 60/ φ 100ダンパー煙突と φ 60/ φ 100 ⇔ φ 100 φ 150変換アダプタを袋ナットで接続します。

⑪接続図



⑫遮熱板の設置

- 薪ストーブと煙突設置後に壁遮熱板を設置します。